

令和6年度 学校評価(自己評価・学校関係者評価)報告書

令和 7年 3月 19日
学校法人暁の星学園 高知聖母幼稚園

1. 本園の教育目標

豊かな愛の心を持ち、主体的・積極的に生きる人間性の基礎を育てる

(教育方針)

カトリック精神に基づいた幼児教育を行うとともに、マリア・モンテッソーリの教育指針に沿った人格形成を目指す

(目指す幼児像)

- ・神と人と自然を大切にする子ども
- ・思いやりと感謝の心を持つ子ども
- ・明るく素直な子ども
- ・自分で考え、自分で行動し、責任を持つ子ども

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

モンテッソーリ教育に即した保育内容の充実と、教職員の資質向上を目指す

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	モンテッソーリ教育を基盤とした教職員の資質向上	B	今年度も引き続きモンテッソーリ教育のリモート研修を受講し、全職員で理解を深めると共に、日々の保育を見直していくことができた。 新職員には園内で園長はじめ教職員より、モンテッソーリの実践研修の時間をとり、1年を通して計画的に進めることができた。 特別支援教育についても、モンテッソーリの視点から個々に合わせた対応を図り、実践に繋げていっている。
2	子どもの主体性を引き出す環境構成	B	今年度は特に、製作活動の取り組み方を見直した。のびのびと製作に取り組める部屋を準備し、自然物や廃材などを魅力的に利用することで、子どもたちの豊かな発想にもつながったと感じる。 また、子どもの生活環境においては、今年度より制服から私服へと移行したことで、子どもたちは毎日自由な服装で過ごすようになった。みんな同じではなく、一人ひとりの個性が見え、自分でやろうとする自立心の育ちにも大きくかかわったと感じる。
3	保護者が安心できる幼稚園づくり	B	父母会は休止したが、園の行事ごとに保護者から手伝いを募り、結果楽しく行事を行うことが出来た。保護者にとっては、子どもたちの様子や教師との関わりを間近で見ることができ、また、保護者同士の交流にもつながった。 保育参観後にも保護者同士の交流の場を設けたことや、3学期からは連絡アプリを導入し、より園との連絡がスムーズになっている。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	今年度は幼稚園にとって新しい試みに挑戦した一年となった。家庭数が減少する中、仕事を持つ保護者が増え、近年は父母会の役員選出が大変難しくなっていた。そのため今年度より父母会の活動を休止したが、園の行事ごとに保護者の参加を募ったり、保護者交流の場を設けるなどして対応した。また、モンテッソーリ教育の目的である「子どもの自立」を目指す観点から、「従来通り」の制服を止め、子どもたちの服装を私服へと変更したことも大きな変化となった。子どもたちが幼稚園でのびのびと楽しく過ごせることを第一に考え、服装だけでなく、保育内容や行事についても工夫しながら見直しを重ね、職員で一致して取り組むよう努めた。保護者からも様々な変更や取り組みについて、おおむね肯定的な意見が寄せられた。今後もより一層、子どもたちのために工夫と努力を重ね、謙虚な姿勢で保育を行っていききたい。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	モンテッソーリ教育を基盤とした保育内容の充実	来年度も引き続き「子ども主体」の保育になるよう、職員が一致して子ども一人ひとりに向き合っていきたい。そのためにはモンテッソーリ教育の充実を図り、職員一人ひとりの資質向上を目指していく必要がある。 来年度はコスミック教育の面などでも新たな取り組みに挑戦し、心豊かにワクワクする経験を子どもたちと共有していきたい。
2	園児募集への取り組みの工夫	少子化の影響は避けられないものの、従来通りの園児募集方法では新規の入園に繋げることが大変難しくなっている。園の特色を知らせ、自園の認知度を上げるための一層の努力と工夫が必要である。園庭開放や地域とのかかわりについても、新たな取り組みを考えていきたい。
3	安全対策の強化	様々な非常事態に対応できるよう、マニュアルの見直しや園児の避難訓練、園舎内の安全点検等を行っているが、マンネリ化していないか再度の見直しを行う必要がある。パート職員を含めた全職員で、園児の安全を保障できるよう安全対策を強化していきたい。

6. 学校関係者評価委員会の評価

- ・高知聖母幼稚園は職員間の振り返りを大切にし、様々な課題について真摯に取り組もうとする姿勢が感じられる。園児一人ひとりの発達に合わせた配慮や、時代の流れに合わせた進化・改善も恐れずに行っている点も評価に値する。
- ・特色ある教育を実践し、心身ともに健やかな子どもの成長を援けている。就学後の子どもの中に、自立心や道徳心が育っていると感じる。
- ・今後も園内外の研修、勉強会を通して、子どもたちとのより良い関わりを続けていくことを期待する。